

娘と修道士

- 1 娘が泉に洗濯に
ラララ ラララ 陽気な気分
娘が泉に洗濯に
それから それから どうしたの
娘が泉に洗濯に
白ユリの肌から落ちる玉の汗
どっこい年増としまの娘さん
しわくちやお御足みあし よろよろお御足みあし
どっこい年増としまの娘さん 膝を見せてもアツカンベ
- 2 パタパタ ごしごし 洗濯し
ハシバミの竿に干し物していると
- 3 老いた修道士が通りかかって
「美しい娘さん お仕事はかどりますように
- 4 「何か器をお持ちでないか
老いぼれ修道士に水を一杯飲ませてください」
- 5 「おまえのような老いぼれ坊主に
水を飲ませる器なんかありやしない」
- 6 「おまえの恋人がローマから戻ったならば
すぐにも器を見つけてくるはず」
娘は神と聖ヨハネに誓って言いました
「恋人なんかいたことないさ」
- 7
- 8 「おだまり 娘よ うそをついてはいけないよ
おまえは九人の子供を産んでいる
- 9 「三人は枕元に埋められて
もう三人は酒樽の下に埋められて
- 10 「もう三人はむこうの緑の広場に埋められて
数えてごらん 三三が九」
- 11 「ああ あなた様は世間の人に信頼された
立派でやさしいご老人

12 「修道士さま お願いします
悔い改めの苦行をお与えください」

13 「おまえに与える罪滅ぼしの難行は
七年間は踏み石になり

14 「もう七年間 鐘の舌になり
その先七年間 地獄で猿の手を引くことじや

15 「これだけの罪滅ぼしを終えたとき
生娘に生まれ変わって 家に帰れる」

(山中光義訳)